

Pulse?/! 2014

多摩大学大学院

Webマーケティング・イノベーション

橋本大也

2014年は、

Pulse?/!

の年だった。



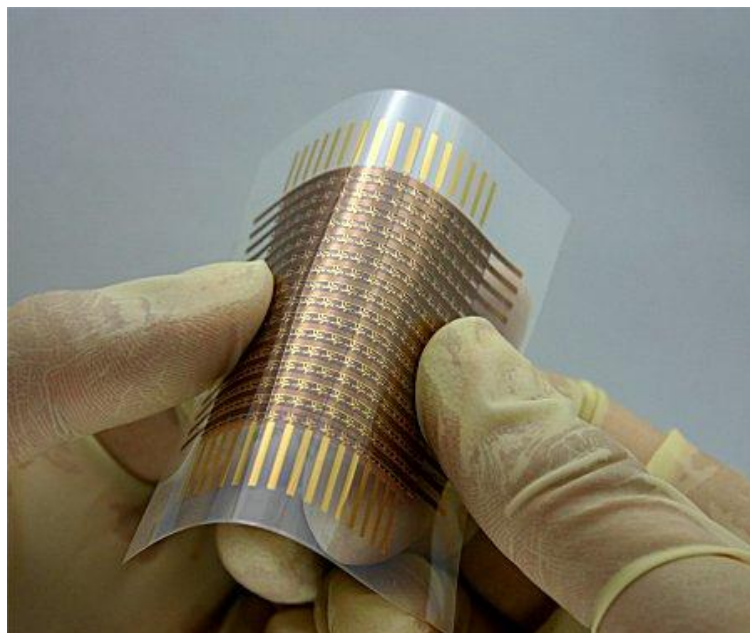
TGSの授業”Webマーケティング・イノベーション”の最終課題として、橋本教員と受講生が共同で考案した“Pulse?/!”コンセプトが、世界のコミュニケーションを一変させたのだ。

(樋口先生の最終授業のおかげと振り返ったものもいた)

時代はEmotionalWebへと突入した。



Pulse?/!のプロトタイプは、2012年に
シャープの携帯電話"Galapagos3.0"に、
TGSとシャープの産学連携プロジェクトとし
て実験的に搭載された。



Pulse?/!のコア技術は薄い膜状の生体センサー(DNP開発)だ。触っているユーザーの生体情報(血流、脈動、発汗、発熱)を読み取ることができる。

ユーザーがいま笑っているのか、怒っているのか、興奮しているのか、穏やかなのか、本気なのか、ウソなのかを80%という精度で検知することができるのだ。



最初のヒットはPulseEmoticon(情字＝感情の絵文字と訳される)を使ったショートメッセージだった。ユーザーがメールを書いている間に、生体情報を読み取って、センテンスの最後に自動的にPulseEmoticonを付加したのだ。

PulseEmoticonを用いた文章表示例

“愛しているよ (**P65%**)”

“ドキドキしちゃう (**P85%**)”

“マジで怒っている (**P99%**)”

“この提案内容じゃ不安だよ (**P75%**)”

“お世話になっております (**P2%**)”

PulseEmoticonは認証付テキストに埋め込まれるので、改ざんすることができない。メールの相手と、本当の思いを伝え合うことができるのだ。



Pulseのサービスは当初は出会い系サービスで広く採用された後、普通の恋人たちの間でも広まった。

出会い系においてはサクラを排除できたし、恋人たちの間でも誠実なおつきあいが保証された。





Pulse?/!の膜状センサーは携帯電話の次に、マウスやタッチパッド、キーボード、タブレット型PC、テレビリモコンなどのデバイスに広く採用された。





全米の映画館が早期に採用して映画の
広告に使った。いまや”全米が泣いた”
や”手に汗握る”、”腹がよじれる”は、つ
きなみな宣伝文句ではなくPulse認証付の
本物の感動体験の証拠だった。





もちろん裏の世界ではアダルト産業が Pulse?/!のデータを使って、極度にエキサイティングなポルノグラフィーを制作して、技術の普及を後押ししたといわれる。これはビデオ、パソコン、ウェブの普及と同じパターンだ。歴史は繰り返す。

The Facebook logo, consisting of the word "facebook" in white lowercase letters on a blue rectangular background.

facebook

Pulse?/!膜状センサーがマウスやタッチパネルに搭載されると、すぐさまFacebook社とGoogle社がPulse?/!との全面連携を発表した。





CEOのマーク・ザッカーバーグは、

「Facebookのイイネの精度を飛躍的に高めることができた(P100%)」

という認証付声明を発表した。

イイものは本当にイイのだ。



続いてGoogle社は、PagerankとPulse?/!Scoreを統合して、ユーザーが真に面白いと思ったページを検索上位に表示するP&Pアルゴリズムを開発、2014年には全面的な検索エンジンでの採用を発表した。

その瞬間、小手先での順位操作に明け暮れてきたSEO業者は壊滅した。



ゴールデン帯視聴率推移

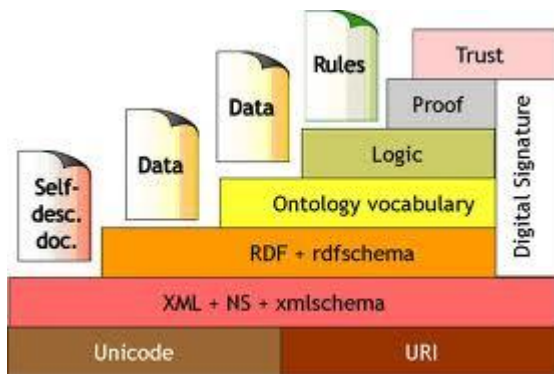
©2006 TBS



30

テレビもまた変わった。視聴率に代わる”感動率”が指標となったのだ。面白い番組、面白くない番組は議論の余地がなくなった。今日のテレビ番組表は、全面的に面白い番組(プロフィール別ではあるが)で埋め尽くされており、新たなテレビ黄金時代を迎えている。

”電・博”はもちろん窮地を迎えている。



World Wide Webの発明者で、かつての次世代構想 SemanticWebの提唱者ティム・バーナーズ・リーは、情報の構造解析ではなく、感情の集約によってこそ、信頼できる情報(Trust)の抽出を実現できると認め、新しい構想を”EmotionalWeb”となづけた。



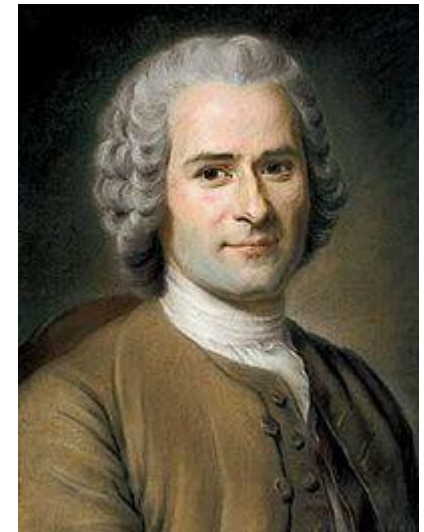
Pulse?/!のユーザー数は、2016年にはGoogleとFacebookの利用者数を超えると予測されている。

2020年には世界人口の3分の1が、何らかのデバイスを介して、Pulse?/!ネットワークに感情的に参加するという。



この革命の発端となったTGS Webイノベーションチームは、現在、Pulse?/!を大統領選挙に使って、“国民の総意”を計測するシミュレーションを、ホワイトハウスに提案している。

これが実現されれば、ルソーの言う“一般意思”が人類史上はじめて実現されることになる。民主主義が次の次元に進化するのだ。



理性と感情

どちらが私たちを幸せに導くだろうか

それは**Pulse?/!**のネットワークが
もうすぐ答えをだす

人類の大実験はいま始まった。

End